

## 天王寺区を知る—天王寺七坂—

天王寺七坂は上町台地西側斜面(夕陽丘)にある七つの坂の総称で、北から順に真言坂(しんごんざか)、源聖寺坂(げんしようざか)、口縄坂(くちなわざか)、愛染坂(あいぜんざか)、清水坂(きよみずざか)、天神坂(てんじんざか)、逢坂(おうさか)をさします。

『大阪を歩く—史跡名所探訪— 大阪市内編』林豊著

東方出版 2007 \*ID0011427772

『天王寺七坂&七名水周辺イラストマップ』上六うえいく  
ネット [2009] \*ID0012020134

『大阪夕陽丘歴史散策ガイド』三善 貞司著 新風書房  
2004 \*ID0010729186 

『てんのうじ探訪』天王寺区役所 2003 \*ID0010719007

『天王寺』天王寺区創設 80 周年記念事業実行委員会  
2005 \*ID0011121598


『大阪史蹟辞典』三善 貞司編 清文堂出版 1986

\*ID0000214926

この調べかたガイドでは、天王寺区をテーマに4つのトピックを選び出し、それについて調べるのに役立つ情報源を、わかりやすく紹介しています。

ID 大阪市立図書館の「書誌ID」(お問い合わせの際にお伝えください)

天王寺図書館に所蔵しているものは、IDの前に\*をつけて表示しています。( \*の無いものも所蔵館から取り寄せできます。)

小学生から読めるものはID番号の後にオムリンマークをつけています。

WEB 大阪市立図書館のホームページ

紹介した資料やホームページなどはほんの一例です。図書館ホームページ「おおさか資料室」や各館のページにも「よくある質問」や区に関する資料のリストを掲載しています。

より詳しくお知りになりたいときは、図書館のカウンターへご相談ください。図書館司書がお手伝いします。

調べかたガイド各区版

## 天王寺区の調べかた

天王寺区の史跡・名勝・建築

—生国魂神社—

天王寺区の人物・伝説—竹本義太夫—

天王寺区の民俗・文化—天王寺の舞楽—

天王寺区を知る—天王寺七坂—



### 大阪市立天王寺図書館

〒543-0037 大阪市天王寺区上之宮町4-47

TEL 06-6771-2840

<https://www.oml.city.osaka.lg.jp>

開館時間 火～金曜日(第3木曜日は休館)

10:00～19:00

土・日曜日、祝・休日、7/21～8/31の月曜日

10:00～17:00

休館日 ●月曜日、第3木曜日(祝・休日は開館)

7/21～8/31の月曜日は開館

●年末年始 ●蔵書点検期間

## 天王寺区の調べかた

Ver. 2 2019. 03改訂

## 天王寺区の史跡・名勝・建築

## —生国魂神社—

生国魂神社は国土生成に関わる生島(いくしま)神・足島(たるしま)神を祭り、平安時代の『延喜式』にも記載された由緒ある神社です。織田信長が本願寺を攻めた折に消失し、豊臣秀吉が現在の地に移しました。本殿後方西側一帯は断崖となっており、上町台地が大阪湾に突き出した岬であった頃の面影を残しています。江戸時代は六甲・淡路まで見渡せると多くの参詣人で賑わいました。社殿は生国魂造という珍しい様式の建築です。7月11日～12日に行われる夏祭りは、大阪三大夏祭りの一つとされています。

『週刊古社名刹巡拝の旅 35 通天閣と天王寺』集英社 2010 \*ID 0012333441

『生魂—100年のあゆみ—』大阪市立生魂小学校創立100周年記念誌編集委員会 1975 \*ID 0080220552

『天王寺区史』川端 直正編 天王寺区創立三十周年記念事業委員会 1955 \*ID 0000244950

『大阪史蹟辞典』三善 貞司編 清文堂出版 1986 \*ID 0000214926

『大阪春秋 25号 阿倍野・住吉・天王寺』大阪春秋社 1980 ID 0000253458

WEB「デジタルアーカイブ」→「簡易検索」→『生国魂神社』(※検索もれを防ぐには『生魂神社』『生玉神社』など複数のキーワードでの検索が有効です。)

## 天王寺区の人物・伝説—竹本義太夫—

竹本義太夫は1651年(慶安4年)摂津天王寺村の農家の生まれで、茶臼山郵便局北側に誕生地の碑があります。道頓堀に竹本座を創設し、近松門左衛門らの協力により人形浄瑠璃を発展させました。義太夫節浄瑠璃の元祖と言われる人物です。墓は大道1丁目の超願寺にあります。

近世の大坂：国際交流フォーラム / 脇田 修/編 ; J.L. マクレイン/編 大阪大学出版会 2000 \*ID 0000802364

『大阪夕陽丘歴史散策ガイド』三善 貞司著 新風書房 2004 \*ID 0010729186

『大阪墓碑人物事典』近松 誉文著 東方出版 1995 \*ID 0000492268

『なにわを築いた人々』大阪市編集 大阪市 [1992] \*ID 0070034930

『なにわ人物譜』藤本 篤著 清文堂 1984

\*ID 0000185058

## 天王寺区の民俗・文化—天王寺の舞楽—

四天王寺では早くから、宮廷とは異なる外来の舞楽を伝承しており、南北朝時代に宮廷の舞楽が衰微した後も保持されて、宮廷舞楽の復興にも関わりました。現在も、明治時代に設立された雅亮会(がりょうかい)によって受け継がれ、四天王寺で4月22日に行われる聖霊会での奉納を始めとする活動を行っています。聖霊会の舞楽は重要無形民俗文化財に指定され、その衣装や舞楽面も重要文化財に指定されています。

『四天王寺舞楽所用具 舞楽面編』四天王寺 2014 ID 0013055870

『重要無形民俗文化財四天王寺聖霊会の舞楽—大阪府の伝統芸能—』大阪府教育委員会文化財保護課、大阪府『伝統文化保護団体連絡会 2014 ID 0013050900

『重要文化財四天王寺舞楽所用具 染織品編』四天王寺 2012 \*ID 0012692518

『四天王寺聖霊会の舞楽』南谷美保著 東方出版 2008 \*ID 0011684479

『「わがまち天王寺」の文化財』[大阪市]天王寺区役所 1998 \*ID 0000695018

『祭礼行事—都道府県別—[27] 大阪府』高橋 秀雄編 桜楓社 1993 \*ID 0000307051

『大阪の芸能』山口 広一著者代表 毎日放送 1973 \*ID 0000253672

『カラーデザイン—四天王寺蔵・舞楽装束—』今津 玲子著 京都書院 1990 \*ID 0000184715

『大阪春秋 43号 聖徳太子と四天王寺』大阪春秋社 1985 \*ID 0090000394



舞楽面(国宝) 陵王面 納蘇利面(なつそりめん) 四天王寺蔵 (『[大阪名所絵葉書 2]』より)

WEB「デジタルアーカイブ」→「簡易検索」→『舞楽面(国宝)陵王面・納蘇利面』より